

# 野幌駅周辺地区活性化計画

(見直し版)

人と環境にやさしい、安全で安心なまち「のっぽろ」  
ぶらぶら歩きの楽しい、発見のあるまち —



平成 20 年 2 月策 定

平成 21 年 9 月見直し

野幌駅周辺地区活性化協議会

# 目 次

## 第1章 はじめに

1	本計画策定の背景	3
2	本計画の役割	3
3	本計画の策定方法	3
4	本計画の対象区域	4
5	本計画を進めていく主体	5
6	野幌駅周辺地区の今	5

## 第2章 基本的な考え方

1	まちづくりのキーワード及び将来像	9
2	まちづくりのテーマ	9

## 第3章 魅力向上に向けた取り組み

《8丁目通沿道の今と将来》	11
現在の8丁目通沿道	11
将来の8丁目通沿道	12
8丁目通沿道における店舗数、業種業態の変化(計画:現在 将来)	13
8丁目通沿道におけるまちなか居住用住宅戸数の変化(計画:現在 将来)	13
「多様な連携が育むまち」にするための取り組み	14
1 多様な連携によるまちづくり	15
(1) 交流拠点づくり	15
(2) 商学連携をはじめとした産学官連携	17
(3) 地域経済活性化のための地域循環機能の導入	18
(4) イベントやお祭りなどの充実等	19
(5) まちなかのシンボルとなる「JR野幌駅」	20
2 魅力的な店舗・商店街づくり	22
(1) 新たな店舗誘致と機能の導入	22
(2) 商業施設の集積	22
(3) 店舗・商店街のサービスなどの向上	22
(4) レンガが映える明るいまちなみづくり	23
(5) 調和のとれた看板デザイン	23
(6) 特色ある商品が並ぶ横丁づくり	23
(7) 遊楽街・天徳寺通の魅力づくり	24
3 住まいや憩いの場づくり	25
(1) まちなか居住の促進	25
(2) みんなの憩いの場づくり	25
(3) ぶらぶら歩きの「ひと休み」の場づくり	25

「環境に配慮した持続可能なまち」にするための取り組み	26
1 緑豊かなまちづくり	27
(1) 緑豊かなまちなみづくり	27
(2) 緑豊かな道路づくり	27
(3) グリーンモール沿道の民有地内緑化	28
2 環境にやさしいまちづくり	29
(1) いつもきれいなまちなみづくり	29
(2) 資源循環型のまちづくり	29
(3) 省エネルギーや新エネルギー設備の導入	29
(4) カーシェアリングの導入	30
(5) 公共交通機関等の利用による利便性の向上	31
(6) 北海道認定リサイクル製品の採用	31
「安全で安心なまち」にするための取り組み	32
1 人にやさしいまちづくり	33
(1) 段差の少ないまちづくり	33
(2) ゆとりのある歩道づくり	33
(3) 「やさしさ」と「のっぼろらしさ」に配慮した舗装材の採用	33
(4) 冬でも歩きやすいまちづくり	34
2 人と自転車・車が共存したまちづくり	35
(1) 路上駐車のないまちづくり	35
(2) 人と自転車が共存できるまちづくり	35
3 快適で安全安心なまちづくり	36
(1) まちなか交番の設置	36
(2) 明るく安心なまちづくり	36
(3) わかりやすいまちづくり	36
(4) 災害に強いまちづくり	37

## 第4章 計画の実現に向けて

1 今後の進め方	38
2 地域商店街活性化法に基づく商店街活性化事業計画の策定	40
(本計画に基づく中小商業活力向上事業費補助金の活用)	
3 都市再生整備特別措置法に基づく都市再生整備計画の策定など	41
(本計画に基づくまちづくり交付金の活用等)	
4 都市計画法に基づく地区計画制度の活用	42
5 まちなみづくりルール	43

## 第5章 参考資料

《策定・見直しまでの経過》	46
野幌駅周辺地区活性化協議会	46
8丁目会議	47